

やくしだけ コース 27 薬師岳

リーダー CL K/T SL M/T

実施日 平成24年8月19, 20日(日, 月) 天候 晴れ

参加者 17 (男性 5 女性 12)

グレード C上コースポイント

ポイント	到着時間	出発時間	備考
19日 秋葉区役所前		5:00	駅西口経由、新津西ICより北陸道へ
有峰林道・折立	9:10	9:30	駐車場や道路に一杯の車に驚く
三角点(ベンチ)	11:35	12:10	昼食。80名の中学生の一隊に追いつかれる
太郎平小屋	14:50		薬師と北俣以外の山々の頂きはガスに隠れ明日に期待
20日 太郎平小屋		5:30	快晴の中、見える限りの大展望の中を出発
薬師岳山荘	7:55	8:05	薬師岳からゴロ岩。槍眺望の薬師平、続いてガレの登りへと
薬師岳山頂	9:05	9:30	日本百名山2926mの山頂へ全員無事登頂達成。万歳
太郎平小屋	12:20	13:00	薬師の圏谷群と眺望を惜しみつつ一気に下る
折立	16:30	16:45	途中4回の休憩で一気に下る。一同頑張った。
秋葉区役所前	22:00		白樺ハイツで入浴、ビールのうまさ

山行等概要(幹事のコメント)

- 北アルプスの中央の西端に位置する薬師岳は、優美な山容と薬師の3つの圏谷群(国指定特別天然記念物)や素晴らしい眺望、それに昭和35年、13名の愛知大生の冬山遭難で知られている。今回私たちは快晴のもと、その変化に富んだコースの往復によって、それらを心ゆくまで堪能し、かつ確認することができた。
- この山の往復山行は、当クラブでは過去何回か計画されたが、なぜかいずれも成立しなかったかに記憶している。そこで今回は、登りを2分割としてまず太郎平小屋に泊まり、復路は一気に折立まで下ることにした。(ちなみに、山中で出会った県内の某山岳会は登りを薬師岳小屋泊にしたという。)

	標準歩行タイム	私たち(昼食・休憩を含め)	同、実歩行タイム
登り	折立 → 太郎平 5:00	5:20	4:05
	太郎平 → 薬師山頂 3:00	3:40	2:45
下り	山頂 → 折立 6:00	7:00	5:25

- 登りも下りも脱落者皆無。全員揃ってのこのタイムだからいかに皆が頑張ったか改めて思う。山行出発前までは、“心配で、心配で・・・”という人も何人かおっただししが、もちろん不慣れな山小屋泊まりも含めてのことと思うが、そんなことを全部吹き飛ばして皆なよく頑張ってくれた。
- なお今回、写真はパソコンを駆使するN/Sさんに特別に依頼し、内容や出来上がりとも含めて素晴らしい記念となり、感謝感激をしたところです。ありがとうございました。



薬師岳山頂 2, 926m

立山ICより有峰林道を通り折立登山口へ。

天候もよく歩くには最高だが、バテないように注意しなければ。各自準備運動を行い登山開始。登山道入口に遭難した大学生の13重の石塔があり、手を合わせ無事を祈り歩き始めた。

蒸し暑い樹林帯の中を三角点、五光岩ベンチから太郎平小屋まで、樹林帯の中は花を見ることもなくただひたすら歩くのみ。途中雨に降られたが、大降りをするともなくありがたかった。樹林帯を抜けて、ここからが長く木道と石を敷き詰めた遊歩道に行く。足を取られ歩きにくかったが、振り返れば有峰湖、目の前に迫る薬師岳、壮大な景色を満喫しながら足下に咲く色とりどりの高山植物に癒され、太郎平小屋に到着。皆さんの花についての博識にはただ感心するばかり。部屋に荷物を置き、小屋前の広場でリーダー夫妻の山談義に耳を傾けながらのビールの味は格別で、一日の疲れを忘れさせてくれた。



明日も頑張ろう。(晴れてくれることを祈って。)二日目
腫れ

出発前リーダーから周りの山々の説明を聞く。ひんやりとした空気がとても気持ちよかった。キャンプ場にもなっている薬師峠を後にして、ゴロゴロ石の段差が大きい沢を登る。かなりきつかった。



登りが緩くなってきたと思ったら、漸く目の前が開け木道が続いて薬師平に登る。間近に黒部五郎岳、鷲羽岳、水晶岳等々仰ぎ、遠くに槍ヶ岳を眺めながら薬師小屋に到着。最後の登りに備え休憩。いざ頂上へ。主稜線に行く。

左眼下に富山の市街と日本海の望みながら、時々吹き上げてくる風が気持ちよかった。毎日の暑さの下界では、こんな涼しい風はあまり感じることもないと幸せな気分になった。途中避難小屋(?)があり、大学生が尊い命を落としたという尾根への分岐に大きなケルンが積んであって心が痛んだ。また、昨日から富山市内の中学生が清掃活動を行っているという団体と追いつき追いつきの山歩きで、学生から若いパワーをもらいながら山頂に。

360度のパノラマが広がり、南陵カールに続いて中央カール、金作谷カールは圧巻だった。天気がよく槍ヶ岳、穂高連峰まで眺望できとてもラッキーだった。名峰を見ながらの熱いコーヒーが疲れを癒してくれた。

下山開始。ガスも出てきた。これからは長い長い下りだ。気持ちを引き締めて歩こう。ザシの道は滑らないよう慎重に。歩くことで一生懸命の登りでは見えなかった花々も愛でることができ、少し気持ちに余裕ができたように思えたが、本当に長い下りだった。



それでも予定より1時間早く下山することができ、皆さんの健脚ぶりにはただ驚くばかり。お陰でお風呂にも入ることもでき、2日間の疲れを癒すことができた。

歩けるかどうか心配しながら薬師岳登山の参加だったが、天候とリーダーをはじめメンバーに恵まれ、なんとか行ってくることができた。

本当にありがとうございました。そして皆様お疲れ様でした。